

《 3月16日～31日の国内外外国為替市場動向 》

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/03/16 (木)	東京は日銀総裁やアトランタ連銀総裁の発言などを受けてドル買い先行。ドル/円はこの日高値を示現。欧米は一転ドル安。イラク空爆の報に加え発表された経済指標が円を押し下げる要因に。	・一部報道「米軍がイラクで大規模空爆開始」 ・2月の米CPIは0.1%、同住宅着工件数212万件、3月のFF連銀景況指数12.3 ・スイスが25BPの金利引上げ	・アトランタ連銀総裁「米金融市場はまだ緩和的」 ・日銀総裁「ゼロ金利修正の時期を考へるのは早過ぎる」 ・クラークNZ首相「NZドル下落は輸出にプラス」	117.53	141.85	寄付
				116.76	141.63	安値
				117.90	142.46	高値
				116.82	142.33	終値
06/03/17 (金)	東京は地政学リスクの高まりなどを嫌気したドル売りが先行するも続かず。むしろドルは意外に底堅い。欧米は日米金利差縮小思惑に加え本邦期末に向けたリハトリなどもあり円買い優勢ムード。	・2月の米設備稼働率81.2%、同鉱工業生産0.7%、3月のミシガン大消費者信頼感指数速報値86.7	・バラムECB専務理事「12月以来インフレリスクは低下していない」	116.89	142.29	寄付
				115.70	141.15	安値
				116.90	142.32	高値
				115.92	141.31	終値
06/03/20 (月)	東京はドル・日伸値不足思惑やM&Aに絡む噂などから円弱含み。とくにクロスで円安。欧米は翌日にFRB議長の講演を控え全体的には手控えムード。しかし水野発言を受けて終盤に円安へ。	・2月の米景気先行指数▲0.2%	・ECB総裁「仏のデモは経済へ重大な影響を及ぼさない」 ・細川財務次官「ここ数週間を見ると為替はやや荒い値動き」 ・水野日銀審議委員「当面はゼロ金利政策が続く」	116.18	141.45	寄付
				115.50	140.70	安値
				116.45	141.74	高値
				116.40	141.59	終値
06/03/21 (火)	アジアタイムは注目されたFRB議長講演で金利打ち止めに関する発言がなかったことでドル買い優勢。欧米でもドルは続伸し、対円ではそのまま高値引け。とくに材料はなかったがアジアからの流れを難い。	・東京市場が休場 ・FT紙がイタリヤのユーロ離脱に関する記事を掲載 ・2月の米PPIは▲1.4% ・強硬派のシュマーとグラム両議員が25日まで中国訪問へ	・FRB議長「米住宅市場が減速しても経済は依然底堅い」 ・独連銀総裁「金利は歴史的に低い水準」	116.40	141.55	寄付
				116.24	141.24	安値
				117.36	141.91	高値
				117.27	141.83	終値
06/03/22 (水)	東京はドル/円は揉み合い。荒れ模様となったのはNZドルで対円などで急落となった。欧米は欧州通貨主導の相場展開。発表された欧州の経済指標が悪くユーロは総じて弱含み。	・3/8～9日のBOE議事録発表、そのなかで金利据え置きは8対1であったことが明らかに	・日銀総裁「量的緩和解除、マーケットは素直に理解して動いている」 ・クロス独経済相「ECBの追加利上げは必要ない」 ・英財務相「英国経済は強く拡大基調」	117.22	141.93	寄付
				116.57	141.00	安値
				117.41	141.98	高値
				117.02	141.34	終値
06/03/23 (木)	東京タイムは前日の写真相場。主要通貨が小動きだったものの、NZドルが荒れ模様。欧米は予想外のドル高。発表された米住宅指標が良好で損切りを次々ヒット。落ち着いたドル高へ。	・S&P/NZの経常赤字、ピークにあるかそれに近い ・2月の貿易黒字9556.8億円 ・第4四半期NZ経常赤字33.77NZドル ・2月の米中古住宅販売691万件	・中原日銀審議委員「先行きの物価が再びマイナスに転じるリスクに注意必要」 ・シュマー米上院議員「人民元は対ドルで8.0元の節目割れもありうる」	116.90	141.18	寄付
				116.75	140.75	安値
				117.96	141.42	高値
				117.85	141.09	終値
06/03/24 (金)	東京の主要通貨は揉み合い。ただNZドルが指標の悪化に加え財務相の発言もあり急落。欧米はドル高レベルでスタートするも新規住宅販売が予想外の悪化となったこともあり基調一変。ドル弱含み。	・第4四半期NZのGDP▲0.1% ・1月の第三次産業活動指数2.2% ・05年12月末現在の国家借金残高813兆1830億円 ・2月の米耐久財受注2.6%、同新規住宅販売件数108万件	・NZ財務相「NZドルはさらに下落へ」 ・FRB議長「ドル安が米経済に悪影響を与える可能性は低い」 ・イッソグECB専務理事「06年度のユーロ圏成長拡大を予想」	117.85	141.05	寄付
				117.40	140.98	安値
				118.50	141.87	高値
				117.47	141.38	終値
06/03/27 (月)	東京は本邦勢のリハトリに加え、海外勢の円キャリートレード巻き戻しから円が1円以上も急騰。欧米は翌日にFOMCを控え全体的に静かな売買。新規の材料にも乏しく平穏な一日だった。	・2月のNZ貿易赤字▲2.57億NZドル	・ベルギー中銀総裁「金融政策は依然として緩和的」 ・米財務省報道官「為替報告書公表のタイムテーブルはまだない」	117.57	141.50	寄付
				116.41	140.01	安値
				117.60	141.50	高値
				116.75	140.28	終値
06/03/28 (火)	東京は一時大きく円高に振れるも結局行って来い。下値で本邦勢の外貨買い意欲強い。欧米でドルは急伸。米利上げは予想通りながら強気のFOMC声明が好感されドル買い材料に。	・2月の中国外貨準備高8537億ドルで日本を超えて残高世界一 ・3月の独IFO景況指数105.4 ・米国の25BPの金利引上げ動意 ・3月の米消費者信頼感指数107.2	・中国人民銀行総裁「中国を為替操作国と批判することに国際的な支持は得られず」 ・FOMC声明「経済成長と価格安定をバランスさせるため一段の引き締めが必要な可能性」	116.53	140.00	寄付
				116.26	139.72	安値
				118.07	141.71	高値
				117.95	141.54	終値
06/03/29 (水)	東京は期末を控えて売り買い交錯し方向性に乏しい。そうしたなかNZドル安は止まらず。欧米はボジションの手仕舞いに加え財務次官発言などもありドルが一段安。1円近い下落を見せた。	・第4四半期英GDP確定値0.6%	・カナダ中銀総裁「カナダの経済は堅調」 ・アダムズ米財務次官「中国国家主席の訪米が為替報告書に影響を与える可能性」	117.78	141.42	寄付
				117.49	141.22	安値
				118.22	141.82	高値
				117.82	141.67	終値
06/03/30 (木)	東京は117円台後半でやや荒っぽい値動き。依然として金利差に着目した状況は変わらず。欧米はドルが弱含み。UAEの外準シフト思惑に加えNYタイムズ報道などが嫌気された。	・2月の鉱工業生産▲1.7% ・3月の独失業率12.0%、同失業者数497.6万人 ・アイスランドが75BPの金利引上げ ・第4四半期の米GDP確定値1.7%	・UAE中銀総裁が外準のユーロシフトに言及 ・NYタイムズ「スノー財務官に更迭思惑」(これを受けて米政府のドル安政策転換思惑なども)	117.82	141.71	寄付
				117.10	141.61	安値
				117.95	142.85	高値
				117.32	142.74	終値
06/03/31 (金)	東京は期末伸値不足からドル高でスタートするも続かず行って来い。財務相発言からNZドルが小じっかり。欧米は発表された米経済指標が良	・2月の消費者物価指数0.5%、同失業率4.1% ・2月の米個人所得0.3%、同個人支出0.1%、同製造業受注0.2%、3月のミ	・NZ財務相「現状のNZドル/米ドルは満足できる水準」 ・カンザスシティ連銀総裁「金利は中立水準の上限にある可能性」	117.25	142.67	寄付
				117.23	142.28	安値
				118.15	142.98	高値

好でドル買い優勢。しかし地区連銀 総裁発言が冷や水を浴びせた。	シカゴ大消費者信頼感指数88.9、同 シカゴ購買部協会景気指数60.4	・カナダ中銀総裁「中銀はインフレを抑 制していくことが仕事」	117.78	142.73	終値
------------------------------------	--	-----------------------------------	--------	--------	----

＊製作・著作；「FXニューズレター」
 URL； <http://www.fx-newsletter.com/>